

## 生体認証ビジネス実践セミナー開催報告

毎年開催しているビジネス実践セミナーを2月25日に117名の参加者を得て実施しました。

本講演では、政策の動向、利活用の変化、リテール業界やリモート診療での活用術の講演をいただきました。Web アンケート(実施後)に多数の方(65名)から、講演内容に関するご質問やご提案、開催・運営に関するご指摘やご希望のメッセージをいただきました。ご講演者、ご参加者のご協力、ご支援に感謝します。

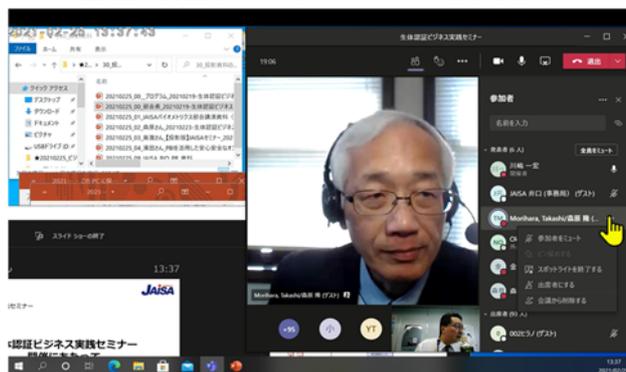
### ■開催概要

- 日時： 2021年2月25日(木) 13:30~16:30  
テーマ： 新技術の活用による新たな日常の構築に向けて  
場所： Microsoft Teams 会議、他  
参加： 当日参加 117名(講師、事務局含む)、参加登録 150名

表 生体認証ビジネス実践セミナー開催 プログラム

| あいさつ<br>(13:30~13:40)    | 一般社団法人 日本自動認識システム協会<br>バイオメトリクス部会 部会長 森原 隆   |
|--------------------------|--|
| 1. 招待講演<br>(13:45~14:20) | ニューノーマルにおける新技術導入・普及の取組と<br>デジタル産業政策について<br>経済産業省 商務情報政策局 情報産業課<br>総括係長 根本 義規 氏       |
| 2. 動向報告<br>(14:25~15:00) | 新たな日常の構築に向けた生体認証利活用の変化<br>バイオメトリクス部会 部会長 森原 隆氏                                       |
| 3. 講演 1<br>(15:10~15:40) | 従業員とお客様に安心・便利を提供する、<br>リテール業での生体認証活用の取組み<br>富士通株式会社 生体認証事業部 販売推進部 奥瀧 乃梨子 氏           |
| 4. 講演2<br>(15:45~16:15)  | PBIを活用した安心安全なオンライン診療時の<br>顔認証本人確認システムの開発<br>株式会社日立ソリューションズ西日本 公共S1事業部<br>本部長 濱田 稔洋 氏 |

図 生体認証ビジネス実践セミナー 部会長挨拶



### ■講演内容

#### 1. 招待講演…ニューノーマルにおける新技術導入・普及の取組とデジタル産業政策について

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 総括係長 根本 義規 氏

本講演では、ニューノーマルにおける 新技術の導入・普及の取組、ローカル5Gのユースケース創出、カーボンニュートラル(グリーン×デジタル)の3点についてお話をいただきました。

新技術導入に関しては、業務やサービスのあり方そのものを新しいスタイルに変化させること、官民連携した取り組みにより、イノベーションを加速することが重要であり、最近の実証実験の中から生体認証に関わる数多くの効果的な例をご紹介いただきました。

また、事業者がカメラ画像を利活用するために、ユースケースをもとにプライバシーや個人情報保護の配慮事項をまとめた「カメラ画像利活用ガイドブック」についてもご紹介いただきました。

最後に、コロナ禍で普及が進んだ新技術は何かとお尋ねしたところ、顔認証がいろいろなイベントでの入退場管理や人流分析において活用されており、また、テレワークやDX(デジタルトランスフォーメーション)によるイノベーションが加速しているとの回答をいただきました。



## 2. 動向報告…新たな日常の構築に向けた生体認証利活用の変化

一般社団法人 日本自動認識システム協会 バイオメトリクス部会 部会長 森原 隆氏

本講演では、「Web ニュース記事から見た社会情勢と生体認証」の視点から、コロナ禍で変わりゆく生体認証利活用について報告いただきました。

誰もが快適で活気に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）の融合、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会（Society5.0）を鑑み、業務やサービスの在り方が生体認証を用いて新たなスタイルに変化し始めていることを紹介いただきました。

中国の動向、欧米の動き、国内事業分野別の活用、リテール分野やリモート診療などでの利活用の変化についてご報告いただきました。

Web ニュース記事の活用術についてお尋ねしたところ、ニュース記事を所属組織の関係者に展開、関連事項を議論し、コミュニケーションを深めているとの回答をいただきました。



## 3. 講演1 …従業員とお客様に安心・便利を提供する、リテール業での生体認証活用の取組み

富士通株式会社 生体認証事業部 販売推進部 奥瀧 乃梨子 氏

本講演では、流通業界における問題意識や生体認証取組事例をご紹介いただきました。静脈、指紋、顔などの生体認証の特徴を比較、安心で快適なお買い物を実現するため、セキュリティ・利便性が高い生体認証を用いて実現する方法をご説明いただきました。

生体認証が活かせるシーンとしては、セキュリティ、利便性、パーソナライズを必要とするシーンであり、用途やシーンによって最適な利活用方法が異なる。目的用途に応じた生体選択が必要であることをご説明いただきました。

その例として、顔認証と手のひら静脈を用いた無人店舗の入店時本人認証について紹介いただきました。顔認証カメラと手のひら静脈センサーを用いてセキュリティを担保する認証精度、入店持ちを作らない認証速度と操作性を実現したと報告いただきました。

最後に、静脈認証と虹彩認証の組み合わせについてお聞きしたところ、顔認証と比べて位置合わせが難しくなり、操作性が悪くなるので、静脈認証と顔認証を組み合わせていると。使い方のノウハウについてお話しいただきました。

## 4. 講演2…PBIを活用した安心安全なオンライン診療時の顔認証本人確認システムの開発

株式会社日立ソリューションズ西日本 公共SL事業部 本部長 濱田 稔洋 氏

本事業は、沖縄県「令和2年度アジアITビジネス活性化推進事業」として、公開型生体認証基盤（PBI）を活用した顔認証本人確認システムを用いた実証実験についてご報告いただきました。

本実証の目的は、島しょ・へき地の医療過疎を解消、社会的課題を解決する先進的取り組みを沖縄から発信！、オンライン診療で危惧される安全性をITで守る、ニューノーマルの医療サービスの形態を示していくことであるとしてご説明いただきました。

この方式（PBI）は、生体情報を「秘密鍵」としたKPI（公開鍵暗号化）を応用した技術で、プライバシーとセキュリティを保護できる。これにより、患者・医師双方の顔認証本人確認システムが、安全に構築でき、クラウド認証基盤でどこからでも利用可能とのことでした。

実証実験を行って感じた課題をお伺いしたところ、将来的に本人確認が必要となるさまざまな場面への展開が期待できる反面、こうした基盤をどのように展開していくべきであるか、費用負担も含めた制度設計が今後の課題であるとのことをご意見をいただきました。



## ■アンケート結果

本セミナーでは、コロナ禍における新技術導入・普及の取組、生体利用動向の変化、安全で利便性の高いリテール業への複数の生体認証(マルチモーダル)を用いた活用術、生体認証を安全、安心して利用していくためのクラウド認証基盤について、多くの方(63名)からのご意見が寄せられました。主な意見を以下に示します。

### (1)新技術導入・普及の取組（招待講演）

- 政府や経済産業省の方針、ニューノーマル対応の動向について参考となった。
- 新たな日常の構築に向けた生体認証利活用、官公庁内でも各省庁から491件もの様々な提案
- カメラ画像利活用ガイドブック ver3.0
- 国レベルのバイオメトリクスへの支援、五輪の準備中の情報
- ローカル5Gの展開、カーボンニュートラルの方向性

#### 【詳しく聞きたい】

- マイナンバーと生体認証の連携はあるか
- カメラ画像利用活用ガイドブック
- 生体認証に関する国策のマイルストーン

### (2)生体利活用の変化（動向報告）

- 生体認証利活用の変化、海外と日本の動向をまとめ
- コロナで顔認証が増加していること、顔認証がかなり広範囲で利用検討されていること
- マルチ生体認証（マルチモーダル）がこれからはもっと必要になる。
- 実証活動事例報告と協会の取組み

#### 【詳しく聞きたい】

- バयोメトリクスと携帯端末の活用について
- 生体認証についての利用者からの反応
- AI動向（バイオとAI）

### (3)リテール業での利活用（マルチモーダル）

- 無人店舗の浸透・拡大
- 生体認証の組み合わせによる利用シーンの多様化
- マルチ生体認証。生体×生体の他、生体×何かはできないか。
- 非接触での認証と認証制度の高さ
- 実運用時の具体的な課題
- コンシューマーサービスでの活用事例

### (4)リモート診療での利活用（PBI）

- 5G世代のリモート診療どこまで
- PBI技術を活用したクラウド基盤との連携
- 顔認証と患者の特徴情報を紐付けするのは良いアイデア
- 公開鍵暗号化。医療以外にも応用が出来るそう。
- 費用負担先？ 保険適用になる？、クラウド型顔認証システムのコスト構造や事業主体
- IT弱者への対応

## ■その他（会議等に関して）

- 遠隔地からの講師参加など、オンラインセミナー形式の潜在性の高さを感じた
- 通信状態に応じた対応（リスクヘッジ）。

以上